

令和8年度 大学院研究科 入学試験判定基準（7月期）

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期	法学	法律学	学内推薦	C評価以上

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期	商学	商学	学内推薦	C評価以上

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期	経済学	経済学	学内推薦	C評価以上

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期・修士	総合理工学	理学	学内推薦	C評価以上
		物質系工学		
		メカニックス系工学		
		エレクトロニクス系工学		
		環境系工学		
		エネルギー理工学		
		東大阪モノづくり		

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
修士	情報学	情報学	学内推薦	C評価以上

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期	薬学	薬科学	学内推薦	各評価者による 評価合計点（5段階の5項目）の平均値で15点以上

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
修士	総合文化	日本文学	学内推薦	C評価以上
		英語英米文学		
		文化・社会学		
		心理学		

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期	農学	農業生産科学	学内推薦	C評価以上
		水産学		
		応用生命科学		
		環境管理学		
		バイオサイエンス		

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期	生物理工学	生物工学	学内推薦	C評価以上
		生体システム工学		

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期	システム工学	システム工学	学内推薦	C評価以上

課程	研究科	専攻	入試区分	口頭試問
博士前期	産業理工学	産業理工学	学内推薦	C評価以上

課程	研究科		入試区分	小論文	口頭試問	合計
修士	実学社会起業イノベーション学位プログラム		一般	60/100 ただし、口頭試問はC評価以上		60/100

令和 8 年度 大学院研究科 入学試験判定基準（9 月期）

研究科	課程	入試区分	A専門科目	B専門科目または外国語	合計	口頭試問
法学	博士前期	学 内	60/100	－	60/100	C評価以上
		一 般	110/200		110/200	
		社会人	60/100	－	60/100	

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
商学	博士前期	学 内	－	C評価以上	C評価以上	C評価以上
		一 般	C評価以上		専門科目（2科目）および外国語科目の3科目が全てC評価であった場合は不合格とする	
		社会人	C評価以上	－	C評価以上	
	博士後期	一 般	－	C評価以上	C評価以上	
		社会人	－	－	－	

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	小論文	合計	口頭試問
経済学	博士前期	学 内	－	60/100	－	60/100	C評価以上
		一 般	110/200	60/100	－	170/300	
		社会人	－	－	70/100	70/100	

研究科	課程	入試区分	専攻	英語（100点）	専門科目既修得科目平均点 学内（100点） 専攻の基礎科目 一般（100点）	口頭試問
総合理工学	博士前期	学 内	理学	110/200		C評価以上
			物質系工学	120/200		
			メカニックス系工学	120/200		
			エレクトロニクス系工学	120/200		
			環境系工学	120/200		
			エネルギー理工学	120/200		
		一 般	理学	110/200		
			物質系工学	120/200		
			メカニックス系工学	120/200		
			エレクトロニクス系工学	120/200		
			環境系工学	120/200		
			エネルギー理工学	120/200		
			東大阪モノづくり	120/200（※）		
	博士後期	一 般	全専攻	—		

※第 1 次選考は小論文等の書類選考（100点）、第 2 次選考は実技試験（100点）

研究科	課程	入試区分	専攻	試験科目合計※	口頭試問
建築学	修士	学内推薦	建築工学	－	C評価以上
			建築デザイン		
		学 内	建築工学	120/200	
			建築デザイン	120/200	
		一 般	建築工学	120/200	
			建築デザイン	180/300	

※入試区分（学内）：英語（100点）、既修得専門科目平均点（100点）の合計

入試区分（一般）：建築工学専攻は、英語（100点）、基礎科目（100点）の合計、建築デザイン専攻は、英語（100点）、基礎科目Ⅰ（100点）、基礎科目Ⅱ(即日設計)（100点）の合計

研究科	課程	入試区分	試験科目合計※	口頭試問
情報学	修士	学 内	－	C評価以上
		一 般	110／200	

※専攻の基礎科目100点+英語100点

令和８年度 大学院研究科 入学試験判定基準（９月期）

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
薬学	博士	学 内	—	—	—	各評価者による評価合計点 （５段階の５項目）の平均値で15点以上
		一 般		40/100	40/100	各評価者による評価合計点 （５段階の7項目）の平均値で21点以上
		社会人		—	—	
	博士前期	学 内	—	40/100	40/100	各評価者による評価合計点 （５段階の５項目）の平均値で15点以上
		一 般	配点100 ※外国語と専門科目の総計が50％以上	40/100	100/200 ※外国語と専門科目の総計が50％以上	
		社会人	—	—	—	
	博士後期	学 内	—	—	—	各評価者による評価合計点 （５段階の５項目）の平均値で15点以上
		一 般		40/100	40/100	各評価者による評価合計点 （５段階の7項目）の平均値で21点以上
		社会人		—	—	

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
総合文化	修士	学 内	70/100	—	70/100	C評価以上
		一 般	140/200	50/100	190/300	
		社会人	70/100	—	70/100	

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
農学	博士前期	学 内	—	60/100	60/100	C評価以上
		一 般	60/100	60/100	120/200	
		社会人	—	—	—	
	博士後期	一 般	—	—	—	
		社会人	—	—	—	

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
生物理工学	博士前期	学 内	190/300 ※外国語は60/100以上		190/300	C評価以上
		一 般	110/200 ※外国語は60/100以上		110/200	
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定			
	博士後期	一 般	外国語試験の得点および口頭試問等の結果を総合して可否を決定 (本研究科博士前期課程修了者は学力試験を免除)			
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定			

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	修得科目平均点	合計	口頭試問	
システム工学	博士前期	学 内	—	45/100	75/100	120/200	C評価以上	
		一 般	100/200			—		100/200
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定					
	博士後期	一 般	外国語試験の得点および口頭試問等の結果を総合して可否を決定 (本研究科博士前期課程修了者は学力試験を免除)					
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定					

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
産業理工学	博士前期	学 内	—	60/100	60/100	C評価以上
		一 般	120/200		120/200	
		社会人	—			
	博士後期	一 般	—	60/100	60/100	
		社会人	—			

研究科	課程	入試区分	小論文	口頭試問	合計
実学社会起業イノベーション学位プログラム	修士	一般	60/100 ただし、口頭試問はC評価以上		60/100

※C評価は、課題発見および課題解決を行うために必要な資質・能力、ならびに主体的に社会に新たな価値を創造しようとする意欲について、一定の水準を満たしていると認められる場合を指す。

令和 8 年度 大学院研究科 入学試験判定基準（1 月期）

研究科	課程	入試区分	外国語		口頭試問
			英語（1）100点	英語（2）100点	
医学	博士	一 般	120/200		C評価以上
		社会人	120/200		

研究科	課程	入試区分	外国語	口頭試問
薬学	博士	一 般	40/100	各評価者による評価合計点 （5段階の7項目）の平均値で21点以上
		社会人	—	

研究科	課程	入試区分	小論文	口頭試問	合計
実学社会起業イノベーション学位プログラム	修士	一 般	60/100 ただし、口頭試問はC評価以上		60/100

※C評価は、課題発見および課題解決を行うために必要な資質・能力、ならびに主体的に社会に新たな価値を創造しようとする意欲について、一定の水準を満たしていると認められる場合を指す。

令和8年度 大学院研究科 入学試験判定基準（2月期）

研究科	課程	入試区分	A専門科目	B専門科目または外国語	合計	口頭試問
法学	博士前期	学 内	60/100	－	60/100	C評価以上
		一 般	110/200		110/200	
		社会人	60/100	－	60/100	
	課程	入試区分	外国語		合計	
	博士後期	一 般	110/200		110/200	
		社会人	口頭試問、出願時に提出した修士論文またはそれに準ずるものおよび「研究(経過)報告書」(1,500 字程度・自由書式)、「研究計画書」等を総合的に判断して、可否を決定します。			

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
商学	博士前期	一 般	C評価以上		専門科目（2科目）および外国語科目の3科目が全てC評価であった場合は不合格とする	C評価以上
		社会人	C評価以上	－	C評価以上	
	博士後期	一 般	－	C評価以上	C評価以上	
		社会人	－	－	－	

研究科	課程	入試区分	専門科目・外国語	論述	合計	口頭試問
経済学	博士前期	一 般	210/300	－	210/300	C評価以上
		社会人	－	70/100	70/100	
	博士後期	一 般	280/400		280/400	

研究科	課程	入試区分	専攻	外国語	専攻の基礎科目	口頭試問
総合理工学	博士前期	一 般	理学	120/200		C評価以上
			物質系工学	120/200		
			メカニックス系工学	120/200		
			エレクトロニクス系工学	120/200		
			環境系工学	120/200		
			エネルギー理工学	120/200		
	社会人	メカニックス系工学	—			
	博士後期	一 般	全専攻	—		
社会人						

研究科	課程	入試区分	専攻	試験科目合計※	口頭試問
建築学	修士	一 般	建築工学	120/200	C評価以上
			建築デザイン	180/300	
		社会人	建築工学	－	

※建築工学専攻：英語（100点）、基礎科目（100点）の合計、建築デザイン専攻：英語（100点）、基礎科目Ⅰ（100点）、基礎科目Ⅱ(即日設計)（100点）の合計

研究科	課程	入試区分	試験科目合計※	口頭試問
情報学	修士	一 般	120/200	C評価以上

※専攻の基礎科目100点+英語100点

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
薬学 (薬科学専攻)	博士前期	一 般	配点100 ※外国語と専門科目の総計が50%以上	40/100	100/200 ※外国語と専門科目の総計が50%以上	各評価者による評価合計点 (5段階の5項目)の平均値で15点以上
		社会人	－	－	－	
	博士後期	一 般	－	40/100	40/100	各評価者による評価合計点 (5段階の7項目)の平均値で21点以上
		社会人	－	－	－	

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
総合文化	修士	一 般	140/200	60/100	200/300	C評価以上
		社会人	－	－	－	

令和8年度 大学院研究科 入学試験判定基準（2月期）

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
農学	博士前期	学 内	－	60/100	60/100	C評価以上
		一 般	60/100	60/100	120/200	
		社会人	－	－	－	
	博士後期	一 般	－			
		社会人				

研究科	課程	入試区分	英語（1）100点	英語（2）100点	口頭試問
医学	博士	一 般	120/200		C評価以上
		社会人	120/200		

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
生物理工学	博士前期	一 般	外国語試験の得点が60点以上であり、これに専門科目試験の得点を加えた値が110点以上			C評価以上
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して合否を決定			
	博士後期	一 般	外国語試験の得点および口頭試問等の結果を総合して合否を決定 (本研究科博士前期課程修了者は学力試験を免除)			
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して合否を決定			

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	修得科目平均点	合計	口頭試問	
システム工学	博士前期	一 般	100/200		—	100/200	C評価以上	
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して合否を決定					
	博士後期	一 般	外国語試験の得点および口頭試問等の結果を総合して合否を決定 (本研究科博士前期課程修了者は学力試験を免除)					
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して合否を決定					

研究科	課程	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
産業理工学	博士前期	一 般	120/200		120/200	C評価以上
		社会人	—			
	博士後期	一 般	—	60/100	60/100	
		社会人	—			

研究科		課程	入試区分	小論文	口頭試問	合計
実学社会起業イノベーション学位プログラム		修士	一般	60/100 ただし、口頭試問はC評価以上		60/100

※C評価は、課題発見および課題解決を行うために必要な資質・能力、ならびに主体的に社会に新たな価値を創造しようとする意欲について、一定の水準を満たしていると認められる場合を指す。